

事業所名

ぬまづラビットハウス

支援プログラム

作成日

R 7 年

1 月

29

法人（事業所）理念		個別療育やグループ活動を通して子供達が豊かに生きられるような社会を形成していく為に、事業所・家庭・地域が連携して子供達を育てていくことを目指します。															
支援方針		・感覚統合の考え方を取り入れた感覚運動を行い、体幹を鍛えバランス感覚やボディーイメージを養います。 ・一人一人のお子様の特性や課題に合わせた遊び感覚で行える教材を使い、支援者と1対1で楽しく療育を行っています。出来た！もっとやりたい！の気持ちになれるようにお手伝いをしていきます。 ・集団活動では、お友達とのコミュニケーションの取り方を覚えたり家庭では出来ない体験を行い、お子様の興味の幅を広げていきます。															
営業時間		月曜日～金曜日		8	時	30	分から	17	時	30	分まで	送迎実施の有無		あり	なし	＊午後利用は送迎なし	
		支 援 内 容															
本人支援	健康・生活	・衣服の着脱、食事スキル、排泄など基本的な生活習慣が自分出来るようにしていきます。															
	運動・感覚	・レットコードやトランポリン、バランス平均台、マットなど色々な器具を使ってサーキット形式で運動を行います。遊び感覚で体幹を鍛えて、バランス感覚やボディーイメージを養います。 ・公園に行き、総合遊具やジャングルジムなどで粗大運動を行いボディーイメージを養います。 ・個別学習では、巧緻面の発達を促していく楽しい課題をお子様に合わせて行っていきます。															
	認知・行動	・絵カードを取り入れたり事前予告を行い、見通しを持って安心して活動が出来るようにしていきます。またABAの考え方でお子様にあった対応をしていきます。 ・マッチング、身の回りの物事の知識と理解、概念、記憶、思考力などを楽しく行える課題を行い、認知能力を高めていきます。															
	言語 コミュニケーション	・言葉からの指示、物の名前などの課題を通して、語彙を増やしたり言葉の意味の理解が出来るようにしていきます。 ・生活の中では支援者やお友達と楽しく会話が出来る環境作りをしていきます。 ・言葉の獲得が難しい場合は、ジェスチャーやサインを覚えてコミュニケーションが上手く出来るようにしていきます。															
	人間関係 社会性	・まずは支援者との愛着を構築していきます。安心した環境の中で様々な経験を支援者よお友達と一緒にを行い、一緒に楽しむことで安心・安定した人間関係を作っていきます。 ・特性への配慮をしながら、段階的に集団参加が出来る様に支援していきます。 ・SST紙芝居などを使い生活の中でのルールを覚えたり、感情の物差しなどを使い感情のコントロールが出来るようにしながら集団の中で上手く過ごせるようにしていきます。															
家族支援		・保護者の悩みや不安な気持ちに寄り添い相談に応じます。また、療育現場を見学して頂き、療育内容やお子様の適切な関わり方をアドバイスしていきます ・精神科医である社長による保護者研修会を行い、お子様に対する理解を深めていきます。また、保護者座談会では同じ悩みを持つ保護者同士の意見交換を行います。								移行支援		・地域の園などと連携をして、集団生活の中で上手く生活していける力がつけられるように療育をしています。 ・就学に向けての準備に取り組み、安心して移行できるようにしていきます。					
地域支援・地域連携		各関係機関（園や相談事業所・他事業所）との連携を図り、支援方法や環境調整等に関する相談援助等の取り組みや支援会議の参加を通して、お子様とご家族が安心して過ごせる環境作りに努めます。								職員の質の向上		・療育に関する研修会、虐待・身体拘束・感染症対応などの研修会に積極的に参加していきます。事業所の中でも研修・訓練を行います。					
主な行事等		・防災訓練（4月・9月・11月）・水遊び・夏祭り・ハロウィン・クリスマス会・お花見会など															